

# 令和5年度 林業普及週間現地情報(8/20～8/26)

森林管理課

クスノキの丸太切り体験(漢那ダムまつり)

8月20日(日)

国土交通省及び林野庁は、森林やダム等の重要性の理解の推進を目的に、7月21日～7月31日を「森と湖に親しむ旬間」として定めている。

その関連行事として全国各地でイベントが開催されており、令和5年8月20日に宜野座村漢那において「漢那ダムまつり」が開催され、沖縄県北部農林水産振興センターは、森林の重要性や木材利用の普及を目的に実行委員として参加した。

今回は、県産木材として多く利用され、芳香があり、また首里城正殿内の彫刻材としても利用されているクスノキの丸太切り体験・メダルづくりと、首里城正殿の小屋丸太梁に使用予定のオキナワウラジログシの根元部分の輪切りの展示を行った。

丸太切り体験・メダルづくりには約120名の参加があり、「丸太を切ると良い香りがする」や「苦手な香り」、「初めてのこぎりを使う」、「首里城に使われる木はこんなに大きいんですか?」、「私もオキナワウラジログシを育てているのですが、育て方を教えてくださいませんか?」等様々な意見が寄せられ、樹木や県産木材に大いに興味を持っていただいた。



丸太切り体験の様子



メダルづくりの様子



オキナワウラジログシの展示

(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、中村、森田、佐野)